

第2回 清水町総合計画審議会 会議録（要旨）

・日 時 令和6年12月23日18時00分～19時30分

・場 所 清水町役場庁舎2階 庁議室

【出席者】

・委員：五十嵐 卓、長谷川 弘、下村 武史、矢萩 利浩、今野 典幸、内田 得裕、
鈴木 堅士郎

（※欠席者：佐々木 隆徳、小室 慶輔、樋口 貴弘、横山 麻悠美、鈴木 愛）

・事務局：企画課長 鈴木 聡、企画課長補佐 吉田 寛臣、企画統計係長 青砥 大将
企画統計係主事 木村 翔、同主事 有田 芯

・傍聴者 なし

1 開 会

2 町長あいさつ

3 会長あいさつ

4 諮 問

5 議 題

（1）第6期清水町総合計画（前期計画）における実施評価について

【青砥係長より説明】

（下村武史）

マイホーム奨励金について、町内事業所にインセンティブをつけた内容となっていると思うが、町内外の施工業者の内訳を教えてください。

（鈴木課長）

令和5年度実績としては、町内事業者で2件、その他は町外事業者である。現在新年度に向けて予算査定を行っており、制度の内容を協議しているため、決まり次第お知らせしたいと思う。

（下村武史）

物価高騰により新築取得よりもリフォームが多くなってくると思うが、大規模リフォームを行う人に対しては補助金額が少ないかと思う。

（鈴木課長）

ご意見を参考にして、今後の検討とする。

(下村武史)

帯広信金御影支店が移転となり、御影地域の利便性が減ってきているかと思う。買い物銀行バスにおける御影から清水への利用者がどれくらいいるのか教えてほしい。帯広信金としても積極的にPRしたいと思う。

(青砥係長)

御影地区からの移動については、買物利用者のほとんどが清水市街のフクハラへの移動となっている。その他清水地区のセイコーマートやサッポロドラッグストア、コメリの利用が少しある状況である。銀行利用者は令和6年11月までの実績として、清水信金が延べ5回、郵便局延べ10回、北洋銀行延べ16回の利用がある。

(内田得裕)

清水高校の活性化は重要であると思う。清水高校の振興について力を入れていただきたい。

(鈴木課長)

清水高校については、町から無くしたくないという思いが強い。3間口を維持できるように、更に高校振興会との連携を強くしていきたい。

(長谷川弘)

清水高校は北海道で最初の総合学科ということもあり、専門的な機材が沢山そろっている。現在は2クラスということもあり、先生が少なくなっており、生徒の資格取得にも影響が出ている。

清水町内の中学生の内半分しか清水高校に進学しない。もっと町全体でPRする必要がある。

(鈴木課長)

道外も含めて生徒を集める手段を考えているが、下宿の問題等の課題は多いかと思う。

清水町内の生徒の学力が高いということも一因にあるかと思うが、高校のPRについては努力していきたい。

(矢萩利浩)

前期計画のKPIの達成状況のうち43%が達成困難となっている。そもそも施策がずれていたのか、KPIの設定が高かったのか、どのように捉えているか。

(鈴木課長)

策定時の目標値設定の仕方を振り返る必要があるが、K P I の設定が安易だったのではないかと反省をしている。本当に目的に合った指標なのかも含めて見直しをする必要がある。更に施策に必要な指標があれば追加することもある。コロナのような想定外の状況もあったため、見直しをしていきたい。

(矢萩利浩)

今年は徘徊老人の搜索もあったと思うが、G P S のタグを町で用意して、配布してみてもどうか。

(鈴木課長)

現在連絡先を書いたカードについては支援させていただいている。費用対効果も含めて検討をさせていただきたい。

(矢萩利浩)

タイミーとの提携について、アプリの登録数が少ないのではないと思う。人手不足に対応できるものと認識しているため、商工会へもっと P R が必要ではないか。

(鈴木課長)

最大限町として P R しながら、登録を募っていきたい。事業者向けの支援も用意があるため、事業者への理解も促していきたい。また商工会だけでなく、農協の支援もいただきながら進めていきたいと思う。

(五十嵐卓)

タイミーの利用状況はどうなのか。

(鈴木課長)

今年の実績についてはまだ把握できていない。これからの実績報告で明らかになるかと思う。

(今野典幸)

タイミーとの提携の話もあったが、農協も人手不足の課題を抱えている。外国人労働力の活用を進める上で、住居の提供が必須であるため、町から提供いただくことはできないか。

(鈴木課長)

空き家バンクを通して情報提供を行っている。住居対策は取組んでいく必要のある課題と認識しており、各担当課が連携する必要があると思っている。

(長谷川弘)

町内会の加入率が少ないことによって、環境保全などのボランティア活動が減っている。町内会加入率を高めることを考える必要があるのではないか。

マイホーム奨励金について、外構も補助対象としてもらえれば、建築事業者だけでなく、土木事業者も潤うのではないかと思います。

(鈴木課長)

町内会の加入率は年々下がっている。転入時に加入の案内はしているが、加入してもらえない現状である。町内会連絡協議会とも協議をしながら、引き続き加入促進に向けて町内会長等と連携し進めていきたい。

マイホーム奨励金については、ご意見として承りたいと思う。

(矢萩利浩)

町内住宅の供給数について、どのように捉えているか。

(鈴木課長)

住宅は足りていないと認識している。提供できる住宅を把握しきれていないのではないかと思います。

(矢萩利浩)

民間と協力をしながら、空き家を供給できるようにする必要がある。清水町は移住に力を入れていると思うが、合わせて住宅を供給する施策も必要ではないかと思う。

(鈴木課長)

公営住宅については入居条件もあり、全ての人に当てはまるものではないかと思う。空き家については家財が残っているものが多く、活用が難しいと聞いている。

(矢萩利浩)

遺産整理など民間の力を活用しながら空き家を利用できるようにすることは大事だと思う。外国人労働者の受入れの話もあり、複合的に考えていく必要があると思う。

(鈴木課長)

外国人は年々増えており、人口に占める割合も高くなってきている。受け入れる地域の環境も考える必要がある。新年度以降考えていきたいと思う。

6 その他

次年度の後期計画策定に係る審議会などの開催予定について説明

7 閉 会